

能登半島地震から15年シンポジウム 珠洲市付近の地震活動と地震防災

珠洲市付近では、2021年9月16日にマグニチュード5.1、最大震度5弱の地震が起こるなど活発な地震活動が続いています。

本シンポジウムでは、珠洲市の地下で何が起こっているのか現時点で得られた知見を共有し、過去の能登での地震・津波災害を振り返りながら、地震や津波への備えについて考えます。

珠洲市の電子基準点

日時：2022年6月4日(土) 13:30～(開場13:00)

場所：ラポルトすず大ホール 定員：250名

参加費無料、事前申込不要、直接会場にお越しください

※新型コロナウイルス感染対応により、参加者名簿を作成する必要があるため、受付時に、ご住所、ご氏名を記載していただきます。

○プログラム 司会：村田 晶(金沢大学 理工研究域地球社会基盤学系 助教)

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～15:05 講演

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| (1) 地震活動の概要 | 金内正文(金沢地方気象台 防災管理官) |
| (2) 地震活動の原因を探る | 平松良浩(金沢大学 理工研究域
地球社会基盤学系 教授) |

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| (3) 地震防災アンケート調査 | 飯田高校3年生 |
| (4) 地震・津波災害から学ぶ | 宮島昌克(金沢大学 名誉教授) |
| (5) 地震・津波への備え | 青木賢人(金沢大学 人間社会研究域
人間科学系准教授) |
| (6) 石川県・珠洲市の取り組み | 石川県危機管理監室危機対策課・
珠洲市危機管理室 |

15:05～15:20 質疑応答

15:20～15:25 閉会挨拶

主催：北陸自然災害懇話会 共催：珠洲市、金沢地方気象台、土木学会中部支部